

# 令和4年度 自己評価・学校関係者評価報告書

学校法人徳力学園 山の手学院幼稚園

## 1. 本園の教育目標

「健康で活発な子どもの育成」・健やかな身体 ・たくましい心 ・考える力 ・豊かな感性

## 2. 本年度の重点的に取り組む目標・計画

新型コロナウイルス感染対策に取り組み、職員/園児の感染を防ぐ。  
園児の安全管理に十分配慮する為、毎月の園内安全管理を実施する。  
コロナに配慮した年間指導計画の見直しを行う。

## 3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価 A：達成している B：一部達成している C：一部改善を要する D：改善を要する

評価内容	評価	評価の理由や取り組み内容
年間指導計画	B	「卒園までに育てほしい10の姿」を教師一人ひとりが意識し、カリキュラムに盛り込み実践していくことができた。
教師としての資質/保育の向上	B	園内研修会を開催し、日ごろの保育の振り返りを行う。情報を教師間で共有することで、幼児理解が深まり同僚性も高めることができた。
保護者対応	A	コロナによるクラス閉鎖が続いたが、事前の案内を十分に行ったことで、休園及び感染者等への連絡はスムーズに行うことが出来た。

## 4. 幼稚園評価の具体的な目標の総合的な評価結果

評価 A：達成している B：一部達成している C：一部改善を要する D：改善を要する

評価	理由
A	自己評価を行い改善すべき点が見え、三つの課題について重点的に取り組むことができた。各教師が保育の質の向上の重要性を再確認した。

## 5. 今後取り組む課題

課題	具体的な取り組み方法
カリキュラムの改善	年間カリキュラムの見直しと改善を行い、より良い年間計画の作成に努める。
保育の質向上	定期的な情報発信を行い、家庭との連携につながるよう取り組む。
安全管理	安全管理マニュアルを遵守し、地震等の災害に対応できる計画的な指導を行う。

## 6. 学校関係者評価委員会の評価

園児安全管理の観点より、毎月の園内安全管理を行うことで、幼稚園での安全生活の向上につながった。バスの安全管理などの為に、毎月担当者全員による話し合いがもたれ、安心して子供を預けることができた。また、母の会役員による第三者評価の実施で、危機感の維持につなげる事が出来た。コロナ禍での行事实施など、感染対策に十分に配慮された取り組みが行われていた。

実施日

令和5年3月13日